

水産業界をリードする情報誌

日刊  
速報

# 水産タイムス

THE SUISAN TIMES



発行所 株式会社 水産タイムズ社  
編集発行人 越川宏昭  
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6  
TEL 03(3456)1411 FAX 03(3456)1416  
ホームページ <http://www.suisantimes.co.jp/>  
e-mail [suisan@suisantimes.co.jp](mailto:suisan@suisantimes.co.jp)  
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)  
購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2020年(令和2年)

12月18日(金) 13439号

## 2021年米国スケソウダラ漁獲枠は4%減

20年のスリミ生産量は11%減17万7100 t

米国アラスカ・ベーリング海及びアリューシャン列島海域でのスケソウダラをはじめとする底魚漁業の2021年の漁獲枠がこのほど決まった。東ベーリング海のスケソウダラ漁獲枠(TAC)は前年対比4%減の137万5000 tと、2013年以降増加傾向にあったTACが減少に転じた。

2020年の米国ベーリング海におけるスケソウダラ漁獲枠は142万5000 tと増

米国ベーリング海のスケソウダラ漁獲枠と製品別生産量の推移(t)

	BS・TAC	スリミ	フィレ・ミンス
2011年	1,252,000	148,068	197,214
2012年	1,200,000	166,992	183,826
2013年	1,247,000	170,246	207,224
2014年	1,267,000	183,622	209,531
2015年	1,310,000	202,392	201,205
2016年	1,340,000	204,223	209,100
2017年	1,345,000	207,334	200,599
2018年	1,364,000	206,300	200,625
2019年	1,397,000	199,152	215,548
2020年	1,425,000	177,141	186,039
2021年	1,375,000		

※スリミ、フィレ、ミンスの生産量はアラスカ湾を含む

えたが、Bシーズンは陸上工場での漁獲枠の消化率が95%(12月5日時点、NMF S)、洋上加工船で90%、加工母船で98%とすべて消化できなかった。

2020年のスリミ生産量(アラスカ湾を含む)は17万7141 tと前年対比11.1%減少した。2015年以降、20万 t前後の生産量で推移してきたが、20年は18万 tを下回る減産となった。また、フィレとミンスの生産量も18万6039 tと13.7%減少した。

財務省の貿易統計によると、1~10月の米国産スケソウスリミの輸入量は前年同期比24.8%(約2万2000 t)減の6万6460 tと大幅減。

2019年12月末時点で約6万 t(スケソウスリミ3万3562 t、その他スリミ2万6943 t)あったスケソウスリミの全国の在庫量は、9月末時点で約4万 t(スケソウスリミ1万9907 t、その他スリミ2万202 t)と低い水準となった。

年末のねり製品の売れゆきと、来年1月から始まる米国ベーリング海でのスケソウダラ漁業の行方に注目が集まっている。

### サステナブルシーフードの消費促進へ

- NSCとEATが提携…………… 2
- 「浜チヨク.jp」、18日に開設…………… 2
- 太平洋クロマグロ漁獲枠、今年と同量に…………… 3
- 岩手越喜来産「ホヤのレアスモーク」6次産業化へ、ポケマルで販売…………… 3
- 魚や一丁、4種の「一人鍋」提供…………… 4
- 農林漁業信用基金、事務所を移転…………… 4

### 立体裁断「ムービンカット」市場開拓へ…………… 4

### 業界人物スポット

中村角(株)  
低温食品第1部

取締役部長

なかもと みちひろ  
中本 道弘氏